

## 「イタオマチブとタンネチセ」の損壊とその復元について

## 1 損壊の概要

平成 28 年 8 月 30 日深夜から翌 31 日未明にかけて襲来した台風 10 号の暴風雨及びそれに伴う倒木によりタンネチセが倒壊し、タンネチセに押しつぶされる形でイタオマチブ（外洋船・板つづり船）の板貼り装飾部分及び本体の一部が損壊した。



被害前の状態（平成 26 年 5 月撮影）



損壊状況①



損壊状況②



損壊状況③

## 2 被害を受けた展示物の製作経緯

## (1) イタオマチブ

- ・ 公財) アイヌ文化振興・研究推進機構（以下「財団」という。）の「平成 12 年度アイヌ文化再現マニュアル作製事業」の一環で制作。所有者は財団。
- ・ 制作は澤井アキ氏（現・札幌アイヌ協会副会長）たちのグループが行った。アイヌの交易船としては最大級のものである。
- ・ 平成 12 年 11 月 28 日付けで、札幌市の（仮称）ウタリ交流施設（現アイヌ文化交流センター）で展示することを前提として、財団から札幌市に寄託され、本市が維持管理を行ってきた。

## (2) タンネチセ

- ・ 財団の「平成 19 年度伝統工芸複製助成」により、北海道ウタリ協会札幌支部（現：札幌アイヌ協会）が製作。所有者は、札幌アイヌ協会。

### 3 復元（製作）

#### (1) イタオマチブ

平成 29 年 5 月 2 日付けで財団との寄託を解除し、同日付で譲受を受けた（所有権が札幌市に移転）。その後、復元を札幌アイヌ協会に委託し、平成 29 年 10 月 31 日に復元が完了した。

#### (2) タンネチセ

屋根部分に使用している萱の経年劣化等のため復元が不可能と判断されたことから、新規製作を札幌アイヌ協会に委託し、平成 29 年 10 月 31 日に製作が完了した。



イタオマチブ 復元①



イタオマチブ 復元②



タンネチセ製作①



タンネチセ製作②



復元（製作）完了①



復元（製作）完了②